

9/24/2008 3:21:11 PM

[File 351] **Derwent WPI** 1963-2008/UD=200860(c) 2008 Thomson Reuters. All rights reserved.

? s pn=jp 51052176

S1 1 S PN=JP 51052176

? t 1/5

1/5/1

Fulltext available through: [Order File History](#)

Derwent WPI(c) 2008 Thomson Reuters. All rights reserved.

0001061610

WPI Acc no: 1976-22705X/197613

Substd. 1-(4-piperidyl)-ureas and thioureas - non-narcotic analgesics

Patent Assignee: YOSHITOMI PHARM IND KK (YOSH)

Patent Family (6 patents, 6 & countries)

Patent Number	Kind	Date	Application Number	Kind	Date	Update	Type
BE 834247	A	19760202				197613	B
DE 2545501	A	19760422	DE 2545501	A	19751010	197618	E
NL 197511857	A	19760414				197618	E
SE 197511408	A	19760510				197622	E
JP 51052176	A	19760508				197625	E
FR 2287228	A	19760611				197630	E

Priority Applications (no., kind, date): JP 1974117503 A 19741012

Patent Details

Patent Number	Kind	Lan	Pgs	Draw	Filing Notes
BE 834247	A	FR			
SE 197511408	A	SV			

Alerting Abstract BE A

Cpds. of formula (I) and their salts (where R1 = 1-4C alkyl, 2-6C alkenyl, 2-5C alkoxy-carbonyl, phenoxy-1-4C alkyl, pyridyl-1-4C alkyl or Ar-(B)m-(CH2)n-; Ar = phenyl opt. substd. by 1-3 substituents chosen from halo, 1-4C alkyl, 1-4C alkyl, 1-4C alkoxy or hydroxy; B = -CH(OH) or CO; m = 0 or 1; n = 0-4; R2 = 1-6C alkyl, aralkyl, phenyl (opt. substd. by 1-3 groups from halo, 1-4C alkyl, 1-4C alkoxy or CF3), naphthyl, pyridyl, furfuryl or thienyl; R3 = 1-6C alkyl, 2-6C alkenyl, aralkyl, phenyl (opt. substd. by 1-3 groups from halo, 1-4C alkyl or nitro) or naphthyl; R4 = H or 1-4C alkyl; X = O or S) are non-narcotic analgesics.

Title Terms /Index Terms/Additional Words: SUBSTITUTE; PIPERIDYL; NON; NARCOTIC; ANALGESIC

Class Codes

International Patent Classification

IPC	Class Level	Scope	Position	Status	Version Date			
C07D-0211/58	A	I		R	20060101			
C07D-0401/12	A	I	L	R	20060101			
C07D-0405/12	A	I	L	R	20060101			
C07D-0409/12	A	I	L	R	20060101			
C07D-0211/00	C	I		R	20060101			
C07D-0401/00	C	I	L	R	20060101			
C07D-0405/00	C	I	L	R	20060101			
C07D-0409/00	C	I	L	R	20060101			

ECLA: C07D-211/58

File Segment: CP1

DWPI Class: B03

Manual Codes (CPI/A-N): B07-D05; B12-D01



⑬ 日本国特許庁

公開特許公報

特 許 願 (2) (後記号ナシ)

昭和 49年 1月 12 日

特許庁長官 斎藤 英 雄 殿

1. 発明の名称

新製成炭素繊維等体の製造法

2. 発明者

住 所 大阪府大阪市東区平野町3丁目35番地

氏 名 青 野 賢 一

(15歳以上)

3. 特許出願人

住 所 大阪府東区平野町3丁目35番地

名 称 青 野 製 炭 株 式 会 社

(672) 代表者 田 坂 元 祐

4. 代理人

住 所 大阪府東区平野町3丁目35番地

氏 名 高 宮 城 晴

5. 添付書類の目録

(1) 明 細 書 1 通

(2) 要 件 状 1 通

(3) 特許願料表 1 通



方式 (2)

⑪特開昭 51-52176

⑬公開日 昭51. (1976) 5. 8

⑫特願昭 49-117403

⑭出願日 昭49. (1974) 10. 12

審査請求 未請求 (全10頁)

庁内整理番号

716P 44 7647 4K
7647 4K 7647 4K
7647 4K 7647 4K

⑮日本分類

16 E431.1
30 G133.311
30 H111.4
30 H111.6
30 H22
30 H44

⑯Int. Cl⁷

C07D211/48
C07D204/12
C07D407/12
C07D409/12
A61K 31/445
(C07D401/12
C07D211/58
C07D213/75)
最終頁へつゞく

明 細 書

1. 発明の名称

新製成炭素繊維等体の製造法

2. 特許請求の範囲

一般式

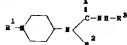


で表わされる化合物と一般式



で表わされる化合物とを反応させることを特徴と

する一般式



で表わされる新製成炭素繊維等体およびその製造の

製造法。

(式中、H¹はアルカル、アラムカル、低炭アル

コキシカルボニル、アラムカルオキシカルボニル、

アレル、アロイルを、H²はアルカル、アラムカ

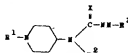
ル、アリアル、ビリジル、フルフリル、チニルを、

H³はアルカル、アラムカル、アリアルを、Xは

酸素原子または硫黄原子を示す。)

1. 発明の詳細な説明

本発明は、一般式



(1)

で表わされる新製成炭素繊維等体およびその製造の

製造法に関する。

(式中、H¹はアルカル(メチル、エチル、プロ

ピル、ブチルなど)、アラムカル(ベンジル、フ

エニル等)または、任意の数個(1〜3個)のハロゲ

ン、低炭アルコキシ、トリハロメチルが置換され

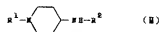
クロロベンジルもしくはアエネチル(クロロベンジル、ジクロロベンジル、フルオロベンジル、メチルベンジル、ノトキレベンジル、ジメトキレベンジル、トリメトキレベンジル、トリフルオロメチルベンジルおよびこれらに相当するアエネチル(注)など)、¹低級アルコキシカルボニル(メトキシカルボニル、エトキシカルボニル、プロポキシカルボニル、ブトキシカルボニルなど)、アラルキルオキシカルボニル(ベンジルオキシカルボニルまたは、任意の位置にハロゲン、低級アルキルが置換されたベンジルオキシカルボニル(クロロベンジルオキシカルボニル、メチルベンジルオキシカルボニルなど)など)、アリール(アセチル、プロピオニル、ブチリルなど)、またはアロイル基(ベンゾイルまたは任意の位置に1〜1個のハロゲン、低級アルキル、低級アルコキシ、トリハロメチルが置換

したベンゾイル(クロロベンゾイル、トルオイル、ノトキレベンゾイル、ジメトキレベンゾイル、トリメトキレベンゾイル、トリフルオロメチルベンゾイルなど)など)を、²は、アルキル(メチル、エチル、プロピル、ブチル、ペンチル、ヘキシルなど)、アラルキル(ベンジル、アエネチル、または任意の位置に1〜1個のハロゲン、低級アルキル、低級アルコキシ、トリハロメチルで置換されたベンジルもしくはアエネチル(クロロベンジル、ジクロロベンジル、フルオロベンジル、メチルベンジル、ノトキレベンジル、ジメトキレベンジル、トリメトキレベンジル、トリフルオロメチルベンジルおよびこれらに相当するアエネチルなど)など)、アリール(フェニルまたは、任意の位置に1〜1個のハロゲン、低級アルキル、低級アルコキシ、トリハロメチル、ニトロ、低級ア

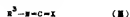
ルコキシカルボニルで置換されたフェニル(クロロフェニル、トリル、メトキシアニル、トリフルオロメチルフェニル、ニトロフェニル、メトキシカルボニルフェニルなど)、ローナフチル、ローナフチルなど)、ビリジル、フルアリルまたはチニルを、³は、アルキル(メチル、エチル、プロピル、ブチル、ペンチル、ヘキシルなど)、アラルキル(ベンジル、アエネチルまたは、任意の位置に1〜1個のハロゲン、低級アルキル、低級アルコキシ、トリハロメチルで置換されたベンジルもしくはアエネチル(クロロベンジル、ジクロロベンジル、フルオロベンジル、メチルベンジル、ノトキレベンジル、ジメトキレベンジル、トリメトキレベンジル、トリフルオロメチルベンジルおよびこれらに相当するアエネチルなど)など)またはアリール(フェニルまたは任意の位置に

1〜1個のハロゲン、低級アルキル、低級アルコキシ、トリハロメチル、ニトロで置換されたフェニル(クロロフェニル、トリル、メトキシアニル、トリフルオロメチルフェニル、ニトロフェニルなど)、ローナフチル、ローナフチルなど)を、⁴は酸素原子または硫黄原子を示す。]

本発明によれば、一般式(Ⅰ)で表わされる化合物は、一般式



で表わされる化合物に一般式



で表わされる化合物を反応させることによりつて製造される。化合物(Ⅱ)の反応に供される量は、化合物(Ⅱ)の1モルにつき、1〜3モルが普通であるが、場合によりは大量例を加える方が有

利なこともある。反応は十分に乾燥させた芳香プロトン性溶媒（ベンゼン、トルエン、キシレン、酢酸エチル、ジオキサンなど）に化合物（Ⅱ）を溶解し、これに化合物（Ⅲ）を加える。反応温度は室温～溶媒の沸点付近の間で反応時間は2～24時間とし、その間攪拌を続けるのがよい。反応終了後は、たとえば、少量の沈降物を除去した後、

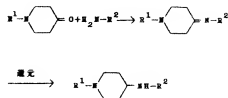
過剰のイソシアノン酸エステルまたはイソシアノン酸エステルと溶媒を減圧下に留去することにより目的物を得ることができる。

また、所望により、一般式（Ⅰ）の化合物でR¹＝アルキル、アラルキルの場合は化合物（Ⅰ）を塩酸塩、シユク酸塩、マレイン酸塩、フマル酸塩などの塩に交換することができる。

本発明の化合物（Ⅰ）およびその塩類は、鉄剤、腐蝕、消炎、麻酔、コレステロール低下作用を有

し、医薬として有用である。

一般式（Ⅱ）で表わされる化合物は、たとえば次のようにして調製できる。



すなわち、N-置換-4-ピロリジンとアミンを酸水溶液させて、得られたシッフ塩基を過剰な還元剤（本発明は水素ナトリウム、本発明はアルミニウムナトリウムなど）を用いて処理すると化合物（Ⅱ）が得られる。

以下余白

以下実施例により本発明を具体的に説明する。

実施例1

1-ベンジル-4-アミノピペリジン2.6gを100mlのベンゼンに溶解し、これにイソシアノン酸フェニル2.6gを加え室温下に2.5時間攪拌後、減圧下ベンゼンを留去する。残査をエンプラエーテルで回収し、クロロホルムから再結晶すると、融点158～161℃の白色結晶の1,3-ジフェニル-3-(1-ベンジル-4-ピペリジル)尿素5.1gが得られる。本化合物の元素分析は値点208～211℃（分解）を示す。

実施例2

1-メチル-4-アミノピペリジン7.6gをベンゼン100mlに溶かし、これにイソシアノン酸フェニル4.6gを加え、室温下に2.5時間攪拌する。反応途中数回にわたつて、イソシアノン酸フェ

ニルを合計4.6g追加する。反応終了後、沈降物を除去し、母液を減圧下に留去し、残査をイソプロピルエーテルで回収し、アルコールから再結晶すると融点134～136℃の白色結晶の1,3-ジフェニル-3-(1-メチル-4-ピペリジル)尿素4.9gが得られる。本化合物の元素分析は値点193～194℃（分解）を示す。

本発明の方法によつてさらに次の化合物が得られる。

① 1-ベンジル-3-フェニル-3-(1-ベンジル-4-ピペリジル)チオ尿素、融点166～167℃、元素分析の値点204～206℃（分解）

② 1-メチル-3-フェニル-3-(1-ベンジル-4-ピペリジル)尿素、融点153～154℃、元素分析の値点173～174℃

(分解)

③ 1, 2-ジフェニル-2-(1-ベンジル-4-ビベリル)チオ尿素、融点122~123で、塩酸塩の融点140~141で

④ 1-フェニル-2-ブチル-2-(1-ベンジル-4-ビベリル)尿素、塩酸塩・2水和物、融点295~298で(分解)

⑤ 1-(p-クロロフェニル)-2-(1-ベンジル-4-ビベリル)尿素、融点170~172で、塩酸塩の融点215~218で(分解)

⑥ 1-フェニル-2-(p-クロロフェニル)-2-(1-ベンジル-4-ビベリル)尿素、融点148~171で、塩酸塩の融点227~229で(分解)

⑦ 1-フェニル-2-フェネチル-2-(1-ベンジル-4-ビベリル)尿素、融点125~

(分解)

⑧ 1-フェニル-2-(p-ノトキシフェニル)-3-(1-ベンジル-4-ビベリル)尿素、融点181~182で、塩酸塩の融点242~245で(分解)

⑨ 1-エチル-2-フェニル-2-(1-ベンジル-4-ビベリル)尿素、塩酸塩、融点284~286で(分解)

⑩ 1-(o-ニトロフェニル)-2-フェニル-2-(1-ベンジル-4-ビベリル)尿素、融点157~159で、塩酸塩の融点221~222で(分解)

⑪ 1, 2-ジフェニル-3-(1-エトキシフェニル)-4-ビベリル)尿素、融点70~72で

⑫ 1, 2-ジフェニル-3-(1-ベンジル

136で、塩酸塩の融点222~224で(分解)

⑬ 1-フェニル-3-(2-ビベリル)-2-(1-ベンジル-4-ビベリル)尿素、融点141~143で、2塩酸塩の融点140~142で(分解)

⑭ 1-フェニル-2-(4-ナフチル)-3-(1-ベンジル-4-ビベリル)尿素、融点147~169で、塩酸塩の融点219~220で(分解)

⑮ 1-(p-ニトロフェニル)-2-フェニル-(1-ベンジル-4-ビベリル)尿素、融点128~129で、塩酸塩の融点221~222で(分解)

⑯ 1-フェニル-2-(p-トリル)-2-(1-ベンジル-4-ビベリル)尿素、融点158~152で、塩酸塩の融点215~217で

-4-ビベリル)尿素、融点196~197で

⑰ 1, 2-ジフェニル-2-(1-アセチル-4-ビベリル)尿素、融点218~221で

⑱ 1-フェニル-2-(p-トリフルオロメチルフェニル)-2-(1-ベンジル-4-ビベリル)尿素

⑲ 1-フェニル-2-(o-ノトキシカルボニルフェニル)-2-(1-ベンジル-4-ビベリル)尿素

⑳ 1-フェニル-3-フルアリル-3-(1-ベンジル-4-ビベリル)尿素

㉑ 1-フェニル-2-(2-フェニル)-3-(1-ベンジル-4-ビベリル)尿素

㉒ 1, 2-ジフェニル-3-(1-フェネチル-4-ビベリル)尿素

㉓ 1, 3-ジフェニル-3-(1-フェネチル

代理人 弁護士 高宮城 勝

4. 前記以外の発明者

住 所 カワレキョウカイ
大阪府大阪市大字高島 47番地の1
氏 名 う へい 三 郎 三 郎 三 郎

手 続 補 正 書

昭和 49 年 11 月 29 日

特許庁 長官 斎藤 英 郎 殿

1. 事件の表示

昭和 49 年特許願第 117503 号

2. 発明の名称

新規な果菜類専体の製造法

3. 補正をする者

事件の国籍 特許出願人
住 所 大阪市東区平野町 3 丁目35番地
名 称 片 富 製 薬 株 式 会 社
代 表 者 田 坂 元 祐

4. 代 理 人

電話通帳付 住居表示ビル・ビル上のビル 5210-0203
住 所 大阪市東区平野町 3 丁目35番地
片 富 製 薬 株 式 会 社 内
氏 名 弁 理 士 高 宮 城 勝
186301

5. 補正の対象

明細書の発明の詳細な説明の欄

6. 補正の内容

明細書第 8 頁 6 行(式を 1 行とする)の「Rー
置換-イーピロリドン」を「Rー置換-イーベ
リドン」に訂正する。

以 上

手 続 補 正 書(自発)

昭和 51 年 1 月 5 日

特許庁 長 官 斎 藤 英 樹 殿

1. 事件の表示

昭和 49 年特許願第 117503 号

2. 発明の名称

新規な記録媒体の製造法

3. 補正をする者

特許出願人
住 所 大阪市東区西野町3丁目5番地
名 称 吉 富 製 薬 株 式 有 限 公 司
代 表 者 田 坂 元 祐

4. 代 理 人

住 所 大阪府東区西野町3丁目5番地
名 称 吉 富 製 薬 株 式 有 限 公 司
代 表 者 高 宮 誠 勝

5. 補正の対象

明細書の発明の詳細な説明の欄

③ 1-メチル-3-(α -メトキシアセニル)-
-3-(1-アセチル-4-ビペリジル)チオ
アセニル、融点124~125℃

④ 1-ペルジル-3-(α -メトキシアセニル)-
-3-(1-アセチル-4-ビペリジル)チ
オアセニル、融点144~145℃

⑤ 1-アセニル-3-(α -メトキシアセニル)-
-3-(1-アセチル-4-ビペリジル)ア
セニル、融点139~148℃、重融点の融点224
~225℃(分解)

⑥ 1-アセニル-3-(α -メトキシアセニル)-
-3-(1-アセチル-4-ビペリジル)チ
オアセニル、融点148~148.5℃、ファール酸
の融点161~169℃(分解)

⑦ 1-(α -メトキシアセニル)-3-(α -
メトキシアセニル)-3-(1-アセチル-4-
ビペリジル)アセニル、ジュア酸の融点138~

6. 補正の内容

明細書第15頁第2行の上記以下の記載を挿入
する。

「③ 1-ベンジル-3-アセニル-3-(1-ア
セチル-4-ビペリジル)アセニル、融点117~
118℃

④ 1-アセニル-3-(α -クロロアセニル)-
-3-(1-アセチル-4-ビペリジル)チオ
アセニル、融点138~138.5℃

⑤ 1-アセニル-3-(α -メトキシアセニル)-
-3-(1-アセチル-4-ビペリジル)チ
オアセニル、融点129~131℃

⑥ 1-メチル-3-(α -メトキシアセニル)-
-3-(1-アセチル-4-ビペリジル)アセニル、
融点132~133℃、ファール酸の融点218
~211℃(分解)

⑦ 1-メチル-3-(α -メトキシアセニル)-
-3-(1-アセチル-4-ビペリジル)チオ
アセニル、融点177~178℃(分解)

⑧ 1-アセニル-3-(α -メトキシアセニル)-
-3-(1-アセチル-4-ビペリジル)ア
セニル、融点104~105℃

⑨ 1-アセニル-3-(α -メトキシアセニル)-
-3-(1-アセチル-4-ビペリジル)チ
オアセニル、融点120~121℃

⑩ 1-メチル-3-(2-ビペリジル)-3-(
1-アセチル-4-ビペリジル)チオアセニル、融
点129~131℃

⑪ 1-メチル-3-(2,4-ジメトキシアセ
ニル)-3-(1-アセチル-4-ビペリジル)
アセニル、融点127~128℃

⑫ 1-アセニル-3-(2,4-ジメトキシア
セニル)-3-(1-アセチル-4-ビペリジ
ル)チオアセニル、融点158.5~158.5℃」

以 上

手 続 補 正 書

昭和50年3月19日

特許庁 長 官 斎 藤 英 雄 殿

1. 事件の表示

昭和49年特許願第 117503 号

2. 発明の名称

新製なまこ餅等の製造法

3. 補正をする者

住所 大阪府東区平野町3丁目3番地
住 所 片岡製菓株式会社
名 称 代表者 田 坂 元 祐

4. 代 理 人

住 所 大阪府東区平野町3丁目3番地
片岡製菓株式会社内
氏 名 弁護士 高 宮 城 勝

5. 補正の対象

明細書の発明の詳細な説明の欄

6. 補正の内容

明細書第14頁を次の通り補正する。

(2) 3行と4行の間K次の記載を挿入する。

「③ 1, 3-ジフェニル-3-(1-(3, 4,

5-トリメトキシベンジル)-4-ビベリル

〕原素 融点144~151℃

④ 1-ノル-3-フェニル-3-(1-フェ

ニル-4-ビベリル)原素 融点155~1

57℃で、ファール融点の融点208~210℃で

(分解)

⑤ 1, 3-ジフェニル-3-(1-ノル-4

-ビベリル)チオ原素 融点140~141℃で、

塩酸塩の融点175~176℃(分解)

⑥ 1-ノル-3-フェニル-3-(1-ベン

ジル-4-ビベリル)チオ原素 融点169~

171℃で、塩酸塩の融点215~216℃(分解)

③ 1-フェニル-3-(p-トリメトキシフェニル

)-3-(1-ベンジル-4-ビベリル)チオ

原素 融点149~151℃で、塩酸塩の融点24

0~245℃(分解)

④ 1-(p-クロロフェニル)-3-(p-メ

トキシフェニル)-3-(1-ベンジル-4-ビ

ベリル)チオ原素 融点144~150℃で、塩

酸塩の融点243~247℃(分解)

⑤ 1-ノル-3-(p-トリメトキシフェニル)

-3-(1-ベンジル-4-ビベリル)原素

融点144~149℃で、塩酸塩の融点217~2

14℃(分解)

(2) 下から6行の「……ビベリル)原素」の後

K「ファール融点の融点194~195℃(分解

)」を挿入する。

(3) 下から2行の「……ビベリル)原素」の後

K「融点149~151℃で、ファール融点の融点

160~162℃で(分解)」を挿入する。

以 上

手 続 補 正 書 (自発)

昭和50年10月27日

特許庁 長 官 斎 藤 実 雄 殿



1. 事件の表示

昭和49年特許願第117503号

2. 発明の名称

新製之炭素膜等の製造法

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人
住 所 大阪市東区平野町3丁目5番地
名 称 片 富 製 炭 株 式 会 社
代 表 者 田 坂 元 祐

4. 代 理 人

住 所 大阪市東区平野町3丁目5番地
片 富 製 炭 株 式 会 社 内
氏 名 赤 岡 士 高 宮 城 勝
(4630)

5. 補正の対象

明細書の発明の詳載は発明の



特開 昭51-52176(8)

6. 補正の内容

明細書を次の通り補正する。

① 11頁1行の「①1-(p-クロロフェニル)」と「1-3-(1-ペン)の間に「1-3-フェニル」を挿入する。

② 15頁1行の後に「、融点141~143で、電阻値の融点191~193で(分解)」を挿入する。

③ 15頁1行と2行の間に次の記載を挿入する。

「①1,3-ジフェニル-3-(1-メチル-4-ビリジル)炭素、融点134~136で、ファーマル炭の融点193~194で(分解)

②1-メチル-3-(2-ビリジル)-3-(1-ペンジル-4-ビリジル)炭素・シヤク炭、融点154~155で(分解)

③1,3-ジフェニル-3-(1-(p-クロロ

ベンジル)-4-ビリジル)炭素・ファーマル炭、融点175~176で(分解)

④1-メチル-3-フェニル-3-(1-フェニル-4-ビリジル)炭素、融点144~148で、電阻値の融点215~217で(分解)

⑤1-プロピル-3-フェニル-3-(1-フェニル-4-ビリジル)炭素、融点89~90で、ファーマル炭の融点157~158で(分解)

⑥1-4ソプロピル-3-フェニル-3-(1-フェニル-4-ビリジル)炭素、融点120~122で、電阻値の融点197~199で(分解)

⑦1-(p-クロロフェニル)-3-フェニル-3-(1-フェニル-4-ビリジル)炭素、融点147~149で

⑧1-(p-フルオロフェニル)-3-フェニル

-3-(1-フェニル-4-ビリジル)炭素、融点125~127で

⑨1-メチル-3-(p-クロロフェニル)-3-(1-フェニル-4-ビリジル)炭素・ファーマル炭、融点159~160で(分解)

⑩1-フェニル-3-(p-クロロフェニル)-3-(1-フェニル-4-ビリジル)炭素、融点168~170で

⑪1-フェニル-3-(p-クロロフェニル)-3-(1-フェニル-4-ビリジル)炭素、融点149~150で

⑫1-メチル-3-(p-プロモフェニル)-3-(1-フェニル-4-ビリジル)炭素、融点175~176で、電阻値の融点219~220で(分解)

⑬1-メチル-3-(p-トリル)-3-(1-

フエネチル-4-ビペリジル) 炭素・フマール酸
塩、融点195~197で(分解)

⑩1-フエニル-3-(p-トリル)-3-(1-
フエネチル-4-ビペリジル) 炭素、融点15
9~161で、重合塩の融点251~254で(分
解)、フマール酸塩の融点205~207(分
解)

⑪1-フエニル-3-(p-トリル)-3-(1-
フエネチル-4-ビペリジル) チオ炭素、融点1
54~155で

⑫1-ノチル-3-(2,3-キシル)-3-(1-
フエネチル-4-ビペリジル) 炭素・フマ
ール酸塩、融点287~210で(分解)

⑬1-ノチル-3-(p-メトキシフェニル)-
3-(1-フエネチル-4-ビペリジル) 炭素・
フマール酸塩、融点185~186で(分解)

ジル) チオ炭素、融点151~153で

⑭1-ノチル-3-(p-チアチル)-3-(1-
フエネチル-4-ビペリジル) 炭素・フマール
酸塩、融点172~175で(分解)

⑮1-ノチル-3-(2-ピリジル)-3-(1-
フエネチル-4-ビペリジル) 炭素、融点13
15~1355で

⑯1-ノチル-3-(3-ピリジル)-3-(1-
フエネチル-4-ビペリジル) 炭素、融点16
8~176で、2重炭素の融点218~220で
(分解)

⑰1,3-ジフエニル-3-(1-(p-クロ
フエネチル)-4-ビペリジル) 炭素・フマール
酸塩、融点175~176で(分解)

⑱1,3-ジフエニル-3-(1-(3,4-ジ
クロフエネチル)-4-ビペリジル) 炭素・ク

⑩1-フエニル-3-(p-メトキシフェニル)

-3-(1-フエネチル-4-ビペリジル) 炭素、

融点174~176で

⑪1-フエニル-3-(p-メトキシフェニル)

-3-(1-フエネチル-4-ビペリジル) チオ

炭素・シユク酸塩、融点132~135で(分解)

⑫1-ノチル-3-(p-トリフルオロメチル
フェニル)-3-(1-フエネチル-4-ビペリジ
ル) 炭素・フマール酸塩、融点185~186(分
解)

⑬1-フエニル-3-(p-トリフルオロメチル
フェニル)-3-(1-フエネチル-4-ビペリ
ジル) 炭素・フマール酸塩、融点150~152
で(分解)

⑭1-フエニル-3-(p-トリフルオロメチル
フェニル)-3-(1-フエネチル-4-ビペリ

エン酸塩、融点183~185(分解)

⑮1,3-ジフエニル-3-(1-(p-メトキ
シフェネチル)-4-ビペリジル) 炭素・シユク
酸塩、融点163~165で(分解)

⑯1-ノチル-3-フエニル-3-(1-(3,
4-ジメトキシフェネチル)-4-ビペリジル)
炭素・フマール酸塩、融点188~190で(分
解)

⑰1,3-ジフエニル-3-(1-(3,4,5-
トリメトキシフェネチル)-4-ビペリジル) 炭
素・クエン酸塩、融点152~153で(分解) J

以 上

序内整理番号

⑤②日本分類

⑤① Int. Cl?

(C07D407/12
C07D211/58
C07D307/66)
(C07D409/12
C07D211/58
C07D333/36)